

研修コーディネーターワーク報告

テーマ： 『エニアグラム』はどのような人材を育てることができるのか？

エニアグラムで自分につけたタイプによってチーム分けを実施（そのため、チーム名がすごいことに・・・）。コーディネーターシートを配布後、個人作業 5 分、グループディスカッション 30 分、ベスト案抽出 7 分を行なった後、1 チーム 2 分で発表を行ないました。

各チームの成果

チーム：思考

新入社員 OJT 研修

対象：新人とその新人の OJT 担当者

目的： お互いの緊張を解く
コミュニケーションの発生

内容： 新人と OJT 担当者がそれぞれ **エニアグラム** によりタイプを確認し、どういう教育をしていくのか（計画）を話し合っ決めていく。ただし、この計画は目安であって、確定ではない。この研修で最も大切なのは、お互いのコミュニケーションを図ることである。

新人教育というと、新人だけを対象にする研修が多くなりますが、実は「教える側」の教育も大切だということを感じさせてくれました。その中で「お互いを知る、認める」という要素が入っています。単なる仲が良いというコミュニケーションではなく、成長させるためのコミュニケーションのきっかけとして、エニアグラムの可能性を感じました。

チーム：本能

管理職研修

対象： 管理職（講師は管理職の上司）

目的： 自分を知って、他人を知る

内容： 管理職の上司が講師となり、コーチの要素をふまえながら、**エニアグラム** を用いて「自分を知って他人を知ること」についてレクチャーを行ない、部下指導について考えさせていく。

裏目的： 講師となる「上司」が自分を知り、人を知ることの大切さに気づくという「上司育成」。

管理職研修では、部下の多様性を認めるという視点からエニアグラムを用いることがあります。それを上司にさせるという発想が斬新でした。研修においては、受講する側の成長もありますが、実は教える講師側も成長していきます。その両方の成長を含めた今回の提案は他のテーマや内容でも応用がきくと思います。研修の可能性の広がりを感じました。

チーム：感情

就活前学生向け研修

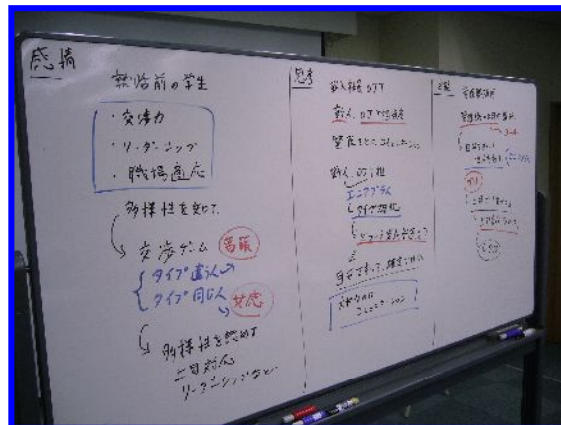
対象： 就職活動前の学生

目的： 職場適応力をつける
交渉力を身につける
リーダーシップを学ぶ

内容： 「多様性を知る」ということをテーマに、ビジネスゲーム（交渉ゲーム）を行なう。最初は **エニアグラム** のタイプで違う人、次にタイプが同じ人で実施。葛藤や共感をそのゲームの中で感じ、多様性を認知していくプログラム。

社会に出ると、必ずしも同じ価値観の人、気の合う人と仕事をするとは限りません。学生が入社してすぐ辞めてしまう背景には「多様性」の認知ができるか否か、が大きく関与しているように思います。社会に出るより前に多様性を認めることができる人材は、成長が速いのもかもしれません。ゲームを用いることで、学生も取り組みやすいように感じました。

ワーク風景



フィードバック

今回のワークを振り返って

前半の講義では、本永講師が短い時間にも関わらず丁寧に講義していただき、また、質問を随時聞いていたので、受けた方も理解しやすかったと思います。後半のワークショップでは、発表したもの以外にも様々な研修案が出され、活発な議論が全てのチームで行なわれていました。(私も議論に熱中してしまい、その様子を撮影することを忘れてしまったほどです)

議論の中では「気づき」が数多く発生し、その中から新たな疑問や課題も生まれました。このような「研修」に対する気づきや疑問・課題が、効果的な研修を生み出す素になるのだと思います。

今回も高い評価をいただくことができました。強いて言えば、もっと多くの方にこのワークを経験していただきたかったな、というのが本音です。参加された皆様、ありがとうございました。
(飯島宗裕)

講師コメント

研修を企画運営されているプロの方々を前にしての講演ということで、とても緊張しましたが、みなさんとても学ぶことに熱心であり、あたたかい雰囲気の中で進めることができました。

第2部においては、エニアグラムを使ってできる研修の企画案をみなさん、とても自由な発想と現実的な人材育成課題につなげて話されていたと思いました。それらのアイデアを聞かせていただく中で、新たなエニアグラムの可能性を感じました。

今回がひとつのきっかけになりエニアグラムが企業研修の中でより使われていくことになれば、本当にありがたくうれしく思います。貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。

(本永孝彦)

第2回研修コーディネーター・ワークショップ

テーマ : エニアグラムを用いた人材育成 ～自分を知る、他人を知ると何が起きるのか～

開催日時 : 2008年7月16日(水) 18:30~21:00 (受付開始18:15)

会場 : 東京都中小企業振興公社 秋葉原庁舎 会議室

参加者 : 10名(スタッフ2名+講師1名除く)

インストラクター(講師) NPO日本エニアグラム学会理事 本永孝彦

ファシリテーター 日本研修コーディネーター協会会員 内田賢司

進行・報告書作成 日本研修コーディネーター協会会員 飯島宗裕